

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年3月31日

事業所名：川崎市北部地域療育センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
環境 ・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	18	7	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスによって差はあるが、それぞれスペースを有効活用している。 ・保育室ではない部屋を利用して工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスによっては親子8組+職員3人で狭く感じる場所がありスペースの確保が難しいため、環境設定や活動設定など必要に応じた工夫をしていく。
	②	職員の配置数は適切であるか	17	8	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの職員数は適切である。 ・人数が多くなる場合は、状況に合わせて出入りしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス状況によっては通常以上の職員配置が必要な場合もある（職員が多くなってしまうこともある）ので必要に応じて調整をする。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	22	3	<ul style="list-style-type: none"> ・1日のスケジュール等は、子ども達が目で見て分かるよう掲示されている。また、子ども達が注目すべきところに、注目しやすいよう、部屋の壁は必要最低限の掲示にとどめている。 ・スケジュールなどわかりやすいように配慮をしている。（絵カードや写真を使う。） ・事故が起こりやすい場所には、注意喚起がなされている。 ・バリアフリー化されたトイレが設備されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々に合わせた環境設定の難しさはあるものの可能な範囲で調整できるよう努力する。 ・各クラスに用意している玩具が多い等、情報量が多いように感じるため状況に応じた量に整理する。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	23	2	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の古さはあるが、工夫して使用している。 ・コロナの影響で消毒にはクラスの職員全員頑張った。 ・人が触れる部分は消毒を行い、子どもが怪我のないよう、机はなるべく端の方に置いたり、子どもが過ごしやすい場所になるよう心掛けている。 	
	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	21	4	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの反省会にて振り返り、対応など統一している。 ・目標設定や振り返りは常に考えるようにしている。また、振り返りでは情報共有を行っている。 ・OJTの研修で振り返る機会がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の共有が難しく、同じ認識ではない場面も見られたため共通理解を図る場を設定する。もしくは、リーダー会議等で確認し各クラスごとに確認してもらうようにする。

業務改善	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	24	1	・クラス的环境設定等、保護者からの意見に対し、クラスで反映できるものは対応できたと思う。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	25		・HPで公開している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	23	1	・第3者評価を取り入れている。	・評価結果を元に、改善へと繋げている様に見えないところもあるようなので、取り組んだ内容について確認できるようにする。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	25		<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修、内部研修ともに、参加できる機会が多く設けられている。 ・月1回定期的に研修が行われていた。 ・内部研修 ・初任者研修や勉強会の機会が多く、学ぶ場がある。 ・他部署について研修をしていただいた。 ・勤続年数に合わせた研修が行われている。 ・昨年度よりも研修が増えた。 	・日々の業務指導が不十分に感じるところがあるため、主任補、リーダーの役割、人材育成の役割を明確にしつつ対応していく。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	25		・子どもの様子や保護者からの思いを考えながら、児童発達支援計画を作成する事ができた。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	16	9		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	21		・子どもの特性に合った内容、支援内容を設定することができている。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	24	1	・同じ支援とは言えないが、子どもの特性に合った支援を心がけている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	20	3	・作成前にクラス内で話し合いを行っている。	

適切な支援の提供	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	22	3	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にクラスで行っている活動等の情報共有ができる場が設けられている。 ・子どもによっては、同じもので取り組めるようにしている場合もある。 ・子どもに合わせてプログラムを変えている。 	・固定化していると感じる場面も見られるため、クラス内の会議などで検証していく。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	20	2		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	24	1	<ul style="list-style-type: none"> ・決まった時間に、当日の反省・翌日の打ち合わせを行っている。 ・難しい時(バス等)はあるが、概ね行っている。 ・療育開始前に打ち合わせは必ず行い、それぞれの役割・注意する部分等、確認している。 	・一部の職員で行われているときもあったため、他業務との兼ね合いもあるが、無理ない範囲で進められるようにする。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	24	1	<ul style="list-style-type: none"> ・決まった時間に、当日の反省・翌日の打ち合わせを行っている。 ・対応や改善できるところは、振り返りで聞き取り、共有している。 ・終了後、反省会で1日を振り返り、情報共有を行っている。 	・意見が言いやすい雰囲気づくりをする。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	24	1	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の支援に関する記録が、担任だけでなく、職員全体で共有できるようになっている。 ・日誌やケース記録 ・子ども一人ひとりのその日に合った出来事を毎日記録に残している。 	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	25		<ul style="list-style-type: none"> ・前期後期共にモニタリングを行い、どのような支援が必要なのか判断している。 	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	19			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	23	1		

関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	22	1		
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	21	2	・医療的ケアが必要な子どもの情報を把握し医療関係の連絡体制を職員で確認している。	
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	25		・所属園に訪問し、情報交換ができた。 ・訪問やセンター退園児の情報共有を行っている。 ・併行の子どもが通っている保育園や幼稚園に訪問し、実際の様子・センターでの様子を情報共有している。	
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	21	3	・年長児の担任とは行っている。	・不十分なところもあるので、対応が可能な方法で実施するようにしていく。
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	16	7	・他の療育センターが運営しているセミナーに参加できる機会が設けられている。 ・実際に参加することはなかったが、所内で研修内容の資料の共有があった。 ・ケースカンファを実施する。	・必要に応じて連携が図れるようにする。
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	16		・以前は近隣の保育園と交流する機会があった。 今年度は設定されていない。(コロナ禍でもあるため)お子さんの状況に合わせて必要に応じて設定できるようにしていく。
	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	9	9	・外部カンファレンスに出席している職員もいる。	
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	24	1	・療育の時間内で多く設けられている。 ・親子登園日で単独の様子を伝えている。 ・日々の様子をエピソードを踏まえながら伝えるようにしている。 ・自宅での様子を聞き取ったり、センターでの過ごし様子を伝えたりと共有している。(連絡帳や電話連絡、親子日等)	

	③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	11	10	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が参加できる講座を開講している。 ・週1親子通園で保護者の困り感等聞き取り対応している。 ・ペアレントトレーニングそのものを実施しているわけではないが、親子通園や個別の面談で必要な内容を伝えるようにしている。 	
保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	24	1		・コロナ禍もあり不十分だったため改めて対応していくようにする。（例年新規契約者は契約会で説明はしている。）
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	22		<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容を保護者にエピソードを踏まえながら、分かりやすく伝えるよう努めている。 	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	25		<ul style="list-style-type: none"> ・親子日が週1日あるため、話をしやすい。 ・電話連絡や親子登園の際、聞き取り・相談にのっている。 ・保護者から悩みの相談をされた際には、クラスで話し合ったり、クラスの人に相談をし、対応をしている。 	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	14	10	<ul style="list-style-type: none"> ・父親交流会がある。 ・会場の提供を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で行わなかったのでは。 ・コロナのため実施できず。 ・今年度に限っては行えていない。（父親交流会や分離で大人が集まる機会を減らした為）
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	24			
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	24		<ul style="list-style-type: none"> ・おたよりやマチコミといった連絡体制の元、情報を共有している。 ・おたよりを作成している。配布時に確認は必要。 	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	23	1	<ul style="list-style-type: none"> ・センター内で個人情報を取り扱いしている。 	・常に意識できるよう喚起していく。
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	25		<ul style="list-style-type: none"> ・日々のあった出来事や家での様子等保護者の配慮をしながら、情報の共有をしている。 	

	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	15	9	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民に対しては、ポスターや目で見て分かるようにしている。 ・年に1回まつりを開催している。 ・今年度はコロナ禍のため招待していない。 	
非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	23	2	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な曜日や時間帯で訓練を設定し、通園の子ども達が練習できるようになっている。 ・マニュアルを確認すると共に、実際に想定した訓練を実施している。 	
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	25		<ul style="list-style-type: none"> ・一か月ごとの避難訓練 ・避難訓練等、定期的に行い、実際の動き等を確認している。 	・避難後の動きの確認が不十分と感じるため、実際に行えると良いと思う。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	22	2	<ul style="list-style-type: none"> ・てんかん発作を持っている子どもの状況について確認している。 	・てんかん発作が起きた時の対応に不安がある職員がいるため対応について確認するようにする。
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	24		<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーのある子どもには、給食時に配慮している。 	
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	21	3	<ul style="list-style-type: none"> ・研修で周知している。 ・ヒヤリハットが起きてしまった時に情報共有できるよう見える位置に貼られている。 ・委員会の議事録等で共有されている。 	
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	25		<ul style="list-style-type: none"> ・研修で参加し、理解を行った。 ・虐待防止に関する研修を行い、どのような対応が必要なのか考えさせられた。 ・虐待に関する研修や権利擁護の研修が開催された。 	
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	24			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。